

東海ブロック大会実施に係る新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

第1版 令和3年4月28日 作成

第42回東海ブロック大会静岡県実行委員会

東海ブロック大会実施に係る新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

1 基本方針

- (1) 本ガイドラインは、「国民体育大会開催における新型コロナウイルス感染拡大防止に関する基本方針」、「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（公益財団法人日本スポーツ協会）、「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（スポーツ庁）、各中央競技団体等が示す大会開催時のガイドライン、各業種別ガイドライン、新型コロナウイルス感染症対策に係る「静岡県実施方針」等を参考に、第76回国民体育大会東海ブロック大会における各競技会開催による新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止し、可能な限り感染リスクを抑える競技会運営とすることを目的に作成する。
- (2) 東海ブロック大会の開催にあたっては、日本スポーツ協会の策定した「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン（令和3年2月15日改訂）」、「国民体育大会開催における新型コロナウイルス感染拡大防止に関する基本方針（2020年10月15日第1版）」と各中央競技団体策定のガイドラインに沿って感染防止対策を徹底するとともに、開催施設の属する市町及び開催施設の定める予防対策を遵守し、競技会を実施する。
- (3) 大会期間中に、新型コロナウイルス感染症が疑われる体調不良者が発生した際は、会場責任者及び救護担当者（医師等）が「5 体調不良者発生時の対応」に即して対応する。
- (4) 本ガイドラインは、今後の感染状況に応じて、随時、必要な更新を行う。

2 対象者

- (1) 参加者
 - ア 大会参加者（選手・監督・コーチ、各県本部役員、競技会役員、競技役員等）
 - イ 報道員（それに準ずるものを含む（以下、同じ））
 - ウ その他、競技会場内で業務に従事する者
- (2) 来場者
 - ア 観客

3 大会前

- (1) 大会実施ガイドラインについて
 - ア 中央競技団体等の定めたガイドラインが策定されている場合は、本ガイドラインと併せて、参加者・来場者へ周知を行うこと。

(2) 開催規模についての検討

ア 参加人数や参集範囲について、予め検討すること。(人数制限による無観客等)

(3) 利用施設の確認事項

ア 人数制限について。

イ 試合会場や控室、更衣室等の換気環境の確認。(換気に問題がある場合は立入禁止や入場制限等の対策をとること。)

ウ 観客席等の環境確認。(密集を避けるため、出来るだけ2mの間をとることが出来るか。)

エ ゴミの廃棄等については施設管理者と事前確認を行う。

(4) 参加者への周知・依頼事項

ア 当日受付時、同意書(チェックリスト)などを人数分提出するよう事前に依頼する。

イ マスクの持参及び着用の協力を呼びかけるとともに、代表者へ持参忘れや破損等の為の予備マスク用意の呼びかけを行う。

ウ 大会参加前に必ずガイドラインを確認するよう呼びかけを行い、ガイドライン上の留意事項を遵守出来ない参加者には、他の参加者の安全確保の観点から、参加取消や、途中退場等の措置を講じる場合がある旨の周知を行う。

エ 新型コロナウイルス接触確認アプリの利用促進の呼びかけを行う。

(5) その他

ア 大会役員及び運営スタッフへ、ガイドラインの事前周知等衛生知識の向上に努めること。

イ 大会役員及び運営スタッフへ、大会当日のチェックリストの提出を呼びかけること。

ウ リスクへの対応が整わない場合、中止・延期を検討する等慎重な対応を行うこと。

エ 土日祝日に大会を行う場合、大会当日の参加人数等を踏まえ、「医療ネットしずおか」(静岡県内の医療機関の情報をインターネットを通じて提供するシステム)などにより、大会当日の当該地域の当番医の状況を確認しておくことが望ましい。

※「医療ネットしずおか」では検索日から2日分の当番医療機関が検索可能

4 大会開催時

(1) 受付対応

ア 受付窓口及び出入口付近へ手指消毒剤を設置する。

イ 受付時、距離を取って並ぶよう目印等の設置を行う。

ウ 受付対応のスタッフは必ずマスクを着用する。

エ 受付時、同意書(チェックリスト)などの提出呼びかけを行う。(受付時は代表者1名で対応して頂くこと。) ※チェックリスト項目に該当する方への入場制限の呼びかけを行う。

- オ 受付終了後、参加団体ごとにまとめたの入場を呼びかける。
- カ 参加者や観客の出入口の制限等、入退場を管理し、人数制限についても検討すること。
- キ 観客の入場を認める場合は、参加者と観客の出入り口を分ける等の工夫を行うこと。
- ク 観客についても、参加者同様、同意書（チェックリスト）などの提出を求めること。

(2) 競技実施中

○実施事項

- ア 監督会議は、感染防止の観点から、各競技団体で協議し、事前に必要な連絡事項をメール、書面等で周知する等の工夫を検討し、実施しないことが望ましい。実施する場合は、参加人数の制限による間隔の確保等の感染防止対策を講じること。
- イ 各競技の開始式は、感染防止の観点から、実施しないことが望ましい。実施する場合は、参加人数の制限による間隔の確保やプログラムの見直しによる時間短縮等の感染防止対策を講じること。
- ウ 表彰式を実施する場合は、参加人数の制限による間隔の確保やプログラムの見直しによる時間短縮等の感染防止対策を講じること。
- エ 参加者への注意事項について掲示し、遵守されているか定期的な巡回を行うこと。
- オ 試合会場について、定期的に換気を行う。
- カ 試合終了後、使用したベンチ等の消毒（参加者にて実施）の指導を行うこと。
- キ 共有物や、複数の参加者が触れる場所（ドアノブやトイレのレバー等）は、定期的（1～2時間に1度程度）に消毒を行う。
- ク ゴミについて、ビニール袋等で密閉し、処理を行う。

○準備事項

- ア 手洗い場にポンプ式石鹸の設置及び「手洗い 30 秒以上」、「トイレの後は蓋を閉めて流す」等の掲示を行う。
- イ 更衣室、休憩スペースの換気を行い、利用を短時間に制限すること。（換気の問題のある場合は立入禁止や入場制限等の対策を行う。）
- ウ 観客の入場を認める際には、観客席の間を十分にとること。（1 m～2 m）
- エ スポーツドリンク等の廃棄について、指定場所を設置する。

(3) 宿泊関係

- ア 宿泊施設は、最新の「宿泊施設における新型コロナウイルス対応ガイドライン」（全国旅館ホテル衛生同業組合連合会、日本旅館協会、全日本シティホテル連盟）に基づいた感染予防対策を十分に講じている施設を利用する。
- イ チェックイン手続きについては、代表者が一括で行う。

- ウ 部屋割りは、一人部屋が望ましいが、困難な場合は少人数（最大3名）の部屋割になるよう配慮する。複数人での利用の場合に常時マスク着用を徹底する。
- エ 部屋の換気を良くする。推奨されている室内湿度である50～60%に保つよう心掛ける。
- オ 食事の時は、選手団が一同に集まるのではなく、時間差をつけて、隣の人との距離（できるだけ2m、最低1m）を空けられるようにし、必要以上の会話は控える。
- カ 食事の際は、宿舎からの指示等に従い、感染のリスクを低減するよう努める。
- キ 宿舎共用部（例：エントランスやワックスルームなど）では、混雑が起らないよう譲り合って使用するとともに、人数制限など宿舎からの指示等に従う。
- ク チームのミーティングなどは、ビデオ会議（オンラインミーティング）を活用し、選手らの接触を、極力避ける。対面で実施する場合は、部屋の広さ（参加者間ができるだけ2m、最低1m）や換気に留意し、「3密」の状態とならないようにする。
- ケ 宿泊施設従業員、他の宿泊客との接触を極力減らすことを心掛ける。
- コ 選手の治療やコンディショニングに際しては、多数が一度に集まらないように工夫し、部屋の換気を繰り返す。マスク・手袋・手指消毒など標準予防策をとった上で対応する。また、環境や使用する器具等の消毒を行う。
- サ 風呂を利用する際は、「3密」を防ぎ、個々人の利用時間を短くし、速やかに退室するように心がける。
- シ 宿泊施設内で体調不良（例：発熱、咳、のどの痛み、倦怠感、味覚嗅覚の異常など）を訴える者が出た場合は、即座に個室に隔離し、所属県本部役員（帯同スポーツドクター等）に相談の上、医療機関を受診させ、静岡県実行委員会事務局にも連絡を入れる。
※詳細は、5（2）参照
- ス その他、宿泊施設内での行動は宿泊施設が定める感染防止対策並びに各中央競技団体が定める感染防止対策に従うこととする。

（4）移動について

- ア 専用の移動手段を手配することが望ましい。
- イ 公共交通機関を利用する場合は、感染予防の観点から、移動中のマスクの着用、手指衛生の徹底、必要以上の会話や飲食は避け、さらに可能な限り座席をまとまって搭乗、乗車し、一般客との接触を避ける。
- ウ バス移動に関しては以下の点を遵守する。
 - （ア）各業種別ガイドラインに基づいた感染予防対策を十分に講じている運行会社を利用する。
 - （イ）移動中は必ずマスクを着用し、密を避けるべく隣り合う座席には座らない。
 - （ウ）最大乗車人数を定員の2分の1までとし、必要な場合は2台に分乗することが望ましいが、難しい場合はマスク着用の徹底、喚起等の感染防止対策をとること。

5 体調不良者発生時の対応

(1) 大会当日に体調不良が確認された場合

- ア 大会当日に体調不良者（例：発熱、咳、のどの痛み、倦怠感、味覚嗅覚の異常など）が発生した場合は、あらかじめ用意した予備室に該当者を隔離する。
- イ 救護所スタッフ等は、体調不良者への対応時は、手袋、サージカルマスク、フェイスシールド、長袖ガウンを着用する。
- ウ 担当者は、救護所スタッフと協議し、医療機関への受診が必要かつ救急搬送が必要な場合は、救急搬送要請（119番）を行う。また、医療機関への受診が必要なものの救急搬送の必要がない場合は、発熱等受診・相談センター（静岡市：054-249-2221、浜松市：0120-368-567、それ以外：050-5371-0561）に電話相談し、当日の対応可能な医療機関（発熱等診療医療機関）を確認し、受診させる。
- エ 休日等において、当日に対応可能な医療機関がない場合は、体調不良者の状況を踏まえ必要に応じて当該地域の当番医を受診させる。
- オ 発熱等診療医療機関等への受診にあたっては、受診前に当該医療機関に電話連絡し、受診可能時間等を確認する。
- カ 発熱等診療医療機関等への移動は、原則、本人又は選手団の責任で行う。
- キ 運営スタッフは、体調不良者が生じた旨及び対応結果等を、競技別実行委員会を通じて、県実行委員会へ報告する。

(2) 宿舎において体調不良が確認された場合

- ア 宿舎において、体調不良が確認された場合は、上記5（1）ウからキまでと同様に対応する。
- イ 宿舎では、医療機関受診までの間は、体調不良者を客室内に待機させるとともに、体調不良者と同部屋に宿泊している宿泊者は別室に移動し待機する。

(3) 感染が確認された場合

- ア 感染が確認された者は、静岡県内の宿泊療養施設への入所、入院など保健所の指示に従い、療養する。なお、無症状又は軽症の場合は、公共交通機関を利用せず帰宅し、居住地を管轄する保健所の指示に従い、療養する。
- イ 県実行委員会は、競技別実行委員会とともに関係機関と連携し、感染者及び濃厚接触者についての情報収集を行う。
- ウ 競技会の中止判断の基準に基づき、県実行委員会で協議し、競技会実施の判断を行う。

- (4) 会期後の対応
 - ア 県実行委員会、競技別実行委員会は、参加者に対して、会期後に感染が判明した時の連絡先を周知・公表しておく。
 - イ 参加者のうち、会場地を出た日の翌日から 14 日以内に、感染が確認された者は、速やかに競技別実行委員会へ報告する。
 - ウ 感染者の報告を受けた競技別実行委員会は、速やかに県実行委員会へ報告する。
 - エ 競技別実行委員会から感染者の報告を受けた県実行委員会は、速やかに日本スポーツ協会へ報告する。
- (5) 感染者発生時の周知方法
 - ア 公表に当たっては、感染者等に対して不当な差別及び偏見が生じないように、個人情報の保護に十分留意する。

6 感染症の事後処理

- (1) 会場責任者は「事故等報告書（様式 1）」によって、県実行委員会に報告する。
- (2) 会場責任者は、残りの試合及び選手選考の取り扱いについて決定し、県実行委員会に報告する。
- (3) 大会終了後 2 週間以内に、新型コロナウイルス感染症を発症した大会参加者・来場者は、県実行委員会に対して速やかに濃厚接触者の有無について報告する。

第 42 回東海ブロック大会静岡県実行委員会（(公財)静岡県スポーツ協会内）

〒422-8004 静岡市駿河区国吉田 5-1-1 TEL：054-265-6464 FAX：054-262-3019

- (4) 大会期間中及び大会終了後 2 週間以内に、新型コロナウイルス感染者または濃厚接触者が大会参加者・来場者に発生した場合は、県実行委員会から日本スポーツ協会に報告する。

7 その他全般事項

- (1) 同意書（チェックリスト）により、大会開催の準備及び当日注意事項について確認を行う。
- (2) 参加者より提出のあった同意書（チェックリスト）について、大会終了後 1 ヶ月保管する。
- (3) 関係者及び参加者に感染が確認された場合に備え、保健所や公的機関に連絡がとれる体制を確保すること。

8 大会中止等運営に係る判断

- (1) 県内において、関係者及び参加者以外の感染者が出た場合には、感染予防対策を強化のうえ開催が可能か判断する。（開催県の策定する実施方針並びに警戒レベル指標を参考）
- (2) チーム関係者において感染者が出た場合には、当該チームの参加を認めない。
- (3) 大会関係者に感染者が出た場合、状況を確認のうえ、大会を中止する場合がある。

- (4) 感染拡大により、緊急事態宣言等が発令した場合には大会を中止する。
- (5) 大会当日、会場にてチェックリストに該当する参加者を確認した際は、所属するチームの参加を認めない場合がある。

《参考資料》

<p>日本スポーツ協会新型コロナウイルス対応関連特集サイト https://www.japan-sports.or.jp/about/tabid1278.html</p>	
<p>新型コロナウイルス接触確認アプリ App Store または Google Play で「接触確認アプリ」で検索してインストールしてください。</p> <p>Google Play https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.go.mhlw.covid19radar</p> <p>App Store https://apps.apple.com/jp/app/id1516764458</p>	 
<p>健康管理アプリケーション「GLOBAL SAFETY」 https://apps.apple.com/jp/app/global-safety/id1543996999</p>	

(様式1)

令和3年 月 日

第42回東海ブロック大会事故等報告書

競技名 _____

競技大会(会場) 責任者名 _____ 報告者名 _____

発生日時	月 日 () 午前・午後 時 分頃
発生場所	
傷病対象者	氏名(ふりがな) () _____ 性別 男・女 生年月日 (年 月 日生) 県名 ()
傷病の原因・状況 ・ケガの場合は部位も 記入	
処置 ・救急搬送では搬送先 の医療機関名を記載 ・保健所へ連絡の際は 時刻、指示内容を記載	
傷病名	
その他	

健康調査票

競技名						種別						所属/都道府県									
氏名				年齢	歳	住所															
連絡先(電話番号)																					
月/日																					
体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃		
咳(せき)、のどの痛み、鼻水など風邪の症状																					
だるさ(倦怠(けんたい)感)、息苦しさ(呼吸困難)																					
体が重く感じる、疲れやすい等																					
味覚や嗅覚の異常																					
新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触																					
同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる																					
過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触																					
過去14日以内に海外渡航歴																					
渡航国名(滞在先・経由地)											渡航期間	~									
相談記述: 相談したいこと、連絡しておきたいことが有れば、記載して下さい。																					
□本人サイン																					

【留意事項】

※検温時間については、出来るだけ決まった時間で測定するように心がけて下さい。

※大会参加日前後2週間の健康観察について、ご活用下さい(大会時は別の提出様式がありますので、**本様式を提出する必要はありません**)。

※濃厚接触とは、「感染者に必要な感染予防策をせずに手で触れること、または対面で人と人との距離が近い接触(1m程度)が一定時間(15分)以上続くこと」と定義します。

※大会終了後この用紙は、1か月程度保管して下さい。また、主催者側の要望があった場合は、提出して下さい。

【記載に関して】

- ・体温は計測の数値を記入。
- ・健康状態は、有り(O)、無し(X)を記入。
- ・1か月以内に海外渡航歴がある場合は、渡航先(滞在地・経由地)を記載のこと。
- ・健康等相談、連絡したいことが有れば、記載してください。

(参考資料2)

【参加者提出】

新型コロナウイルス感染症感染に係るチェックリスト

※自宅にて出発前に記入して下さい

(発熱症状のある方、次の項目に該当する方は大会参加を見合わせて下さい)

No.	チェック項目	回答欄
1	大会当日の体温をご記入ください。	度
2	過去2週間以内に、発熱(37.5度以上)、息苦しさ、強いだるさや風邪等の症状がありましたか(大会当日を含む)。	有り ・ 無し
3	過去2週間以内に、感染が拡大している地域や国への訪問歴、または当該地域から来沖された方との濃厚接触がありましたか。	有り ・ 無し
4	過去2週間以内に、感染の疑いのある方や、感染者との濃厚接触はありましたか。	有り ・ 無し

※2～4について、該当する方に○を付けて下さい。

同意書

_____ 大会参加にあたり、上記のとおり健康上問題のないことを確認のうえ、新型コロナウイルス感染症に関するガイドラインを遵守し、大会に参加する事に同意いたします。

令和 年 月 日

区 分： 指導者 ・ 選手 ・ その他

氏 名： _____

保護者署名： _____

連絡先： _____

※未成年者については、**保護者署名記入必須**のうえ、連絡先へ保護者連絡先を記入して下さい。

(参考資料3)

【参加者提出】

新型コロナウイルス感染症感染に係るチェックリスト（会場到着後）

No.	氏名	会場到着後体温	風症状等（体調不良）
1		度	有り ・ 無し
2		度	有り ・ 無し
3		度	有り ・ 無し
4		度	有り ・ 無し
5		度	有り ・ 無し
6		度	有り ・ 無し
7		度	有り ・ 無し
8		度	有り ・ 無し
9		度	有り ・ 無し
10		度	有り ・ 無し
11		度	有り ・ 無し
12		度	有り ・ 無し
13		度	有り ・ 無し
14		度	有り ・ 無し
15		度	有り ・ 無し
16		度	有り ・ 無し
17		度	有り ・ 無し
18		度	有り ・ 無し
19		度	有り ・ 無し
20		度	有り ・ 無し

※継続した大会日程において、2日目以降は本様式のみを提出して下さい。

※会場出発前に自宅にて検温を実施のうえ、発熱等がみられる場合は参加を見合わせるようチーム関係者への周知を徹底して下さい。

令和 年 月 日

団体名： _____

代表者名： _____

連絡先： _____

発熱した方で受診にお困りな方からの相談は
「静岡県発熱等受診相談センター」にて
24時間電話相談を受付中

以下のいずれかに該当する場合には、
御相談ください



- ☆ 発熱した方で、「かかりつけ医」がない場合（「かかりつけ医」のある方は、相談センターに連絡する前に、「かかりつけ医」に御相談ください）
- ☆ 発熱した方で、「かかりつけ医」などの診療が受けられない場合
- ☆ 新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCONA)の通知を受け取った場合
- ☆ 県外の保健所から、「新型コロナウイルス陽性者の濃厚接触者にあたる」との連絡を受け取った場合

静岡県内の受診相談センター

お住まいの市町	保健所	平日 8:30~17:15	それ以外の時間 (土日祝も含む)
下田市、東伊豆町、河津町、南伊豆町、 松崎町、西伊豆町	賀茂保健所	静岡県発熱等 受診相談センター ☎ 050-5371-0561 ☎ 050-5371-0562 《FAX》 054-281-7702	静岡県発熱等 受診相談センター ☎ 050-5371-0561 《FAX》 054-281-7702
熱海市、伊東市	熱海保健所		
沼津市、三島市、裾野市、伊豆市、 伊豆の国市、函南町、清水町、長泉町	東部保健所		
御殿場市、小山町	御殿場保健所		
富士市、富士宮市	富士保健所		
島田市、焼津市、藤枝市、牧之原市、 吉田町、川根本町	中部保健所		
磐田市、掛川市、袋井市、御前崎市、 菊川市、湖西市、森町	西部保健所		
静岡市	静岡市保健所	☎ 054-249-2221	
浜松市	浜松市保健所	☎ 0120-368-567	

発熱の症状がない方の一般相談は下記をご利用ください

- 国コールセンター(9:00~21:00) 0120-56-5653
- 県庁専用相談ダイヤル(平日8:30~17:15)054-221-8560又は054-221-3296